

江戸の町そぞろぞろぞろ「罪と罰」～石川島人足寄場と長谷川平蔵～

長谷川平蔵。泣く子も黙る火付盗賊改方の御頭。その名を聞けば、池波正太郎と中村吉右衛門を想い出す人もいるでしょう。その平蔵が老中松平定信の命を受け、無宿人や軽微犯罪人の授産や遷善と更生の場として開発した佃島寄場は、その後、石川島人足寄場、石川島監獄署名前を変え、小菅から府中へと移転し、東洋一と言われた府中刑務所になりました。

今回の「そぞろぞろぞろ」は、石川島・佃島辺りをぶらり。最後は四谷の長谷川平蔵に会いに行きます。

参加自由です。できれば、事前に「いくよ」とお声がけください。集合場所などをご連絡します。

主催：刑事司法未来(代表・石塚伸一)

日時：2025年3月22日(土)

<午前の部>9:30～12:30 <午後の部>14:00～16:00

参加費：2000円

連絡先：s-ishizuka@nifty.com までご連絡ください。

<午前の部>

9:30 集合「大江戸線月島駅」6番出口上がる

9:45 森稲荷～住吉大社から佃島へ～

森稲荷神社は、明智光秀に追われた徳川家康を助けた森一族が、1645(正保元)年、摂津国佃の漁夫33人が、家康の勧めもあって江戸佃島に移り住み、その邸宅内に稲荷神を奉祀したことに始まります。

9:50 佃島住吉神社～住吉さんは海運の神さま～

摂津国佃の漁夫33人と住吉の社の神職平岡権大夫好次が分神霊を奉載し江戸へ下り、寛永年間に幕府より鐵砲洲向かいの干潟を賜り築島し、故郷の名をとり佃島とし、正保3(1646)年、住吉三神、神功皇后、徳川家康の御神霊を奉遷祭祀しました。海運業、各問屋組合など海上安全、渡航安全の守護神として信仰を集めました。

10:00 石川島人足寄場灯籠前～江戸前を照らす寄場の灯台～

慶應2(1866)年、石川島人足寄場奉行清水純崎が隅田河口の船舶の航行のため人足(無宿者・軽犯罪者)を使って寄場南端に六角二層の常夜灯を築かせました。

10:30 佃煮の元祖「天安」～元祖か。本家か。それが問題だ！～

森一族の漁師たちは、白魚などの漁業権を与えられたが、時化(シケ)ときにお菜に事欠き、また漁期には腐らない副食物が必要なところから湾内で獲った小魚類を塩辛く煮込んで保存食を作り、野田や銚子から醤油が渡り、塩煮が醤油煮に変わり、佃島の名を取って佃煮と命名して江戸市中に売り出した。

11:00 IHI 資料館～石川島から IHI へ～

1853(嘉永6)年、水戸藩徳川斉昭によって創設された石川島造船所は、石川島播磨重工業から IHI へ発展した。創業の地である佃工場は「リバーシティ 21」になっています。石川島資料館～」は、造船所と石川島・佃島の歴史の貴重な資料を所蔵しています。

<佃と新川をつなぐ中央大橋～ヒョイと渡れば、江戸支柱>

11:30 初代市川左團次と新川於岩稲荷～梨園も、花柳界も四谷怪談～

於岩稲荷田宮神社は、1825(文政8)年(1825)初演の四代目鶴屋南北の戯曲「東海道四谷怪談」由来の神社。1825(文政8)年、江戸浅草の中村座で上演し大当たりした。初代市川左團次が四谷怪談上演の無事を祈念して邸宅内に奉納した。

11:40 鉄砲洲神社～船乗りの聖地～

平安時代、凶作に悩む荏原郡桜田郷の住民が産土神を祀ったことに始まる。新京橋へ遷座して八丁堀稲荷神社と称した。江戸初期に稲荷橋南東詰に遷座して八幡神社を名乗り、江戸の水路網の入り口として、全国の船乗りの崇敬を集めた。1790(寛政2)年(1790年)に富士塚が築造され、江戸後期には湊神社と呼ばれた。歌川広重『名所江戸百景』では「鉄砲洲稲荷橋湊神社」として描かれている。1868(明治元)年に現在の地に

遷座し、1923(大正12)年、関東大震災で大きな被害を蒙ったが、1935(昭和10)年、現在の本殿や神楽殿が再興された。

11:50 **カトリック築地教会～開花の築地・民権の銀座～築地バンド発祥の地～**

安政条約によって東京は開市場に指定され、築地鉄砲洲は外国人居留地となった、当時、キリスト教は禁教であったが、パリ外国宣教師のジャン・マリエ・マランは年キリシタン禁制の高札撤去後の1874(明治7)年、日本政府から居留地の一部を借り受け聖堂の建設に着手し、1878年煉瓦造りの大聖堂が完成した。聖堂は1920(大正9)年、司教座は関口協会に移動り、関東大震災で聖堂が焼失・倒壊したが、1927(昭和2)年に再検査された。

12:00 **築地本願寺～伊東忠太とプレモダンの怪獣たち～** 1617(元和3)年に西本願寺の別院として浅草横山町に建立されたが、1657年(明暦)3年の大火(振袖火事)で本堂を焼失した。幕府は現地再建が許さず、代替地として八丁堀沖の海上が下付された。信仰厚い佃島門徒が中心となり、海を埋め立て土地を築き(「築地」の由来)、16791(延宝7)年に再建され「築地御坊」と呼ばれるようになった。関東大震災では火災によって伽藍は焼失し、門主大谷光瑞と親交のあった伊藤忠太の設計で再建された。

12:30 **<昼食(自由)> 築地場外市場で昼食(自由)**

(移動:日比谷線「築地」駅⇨「小伝馬町」駅)

<午後の部>

14:00 **集合 日比谷線「小伝馬町」**

14:10 **十思公園・小伝馬町牢獄～松陰の斬首と“情(なさけ)の鐘”～**

伝馬町牢屋敷は、300人以上の未決囚が収容されていた刑場。現在はその一部が公園になっている。牢獄は慶長年間に常盤橋外から小伝馬町に移った。1875(明治8)年に市ヶ谷監獄が設置されるまで使用されていた。「安政の大獄」(1857年)では高野長英や吉田松陰ここで処刑された。公園には「松陰先生終焉之地」の碑がある。ここには「時の鐘」の一番梵鐘があったが、時には「法の涙」か、突くのを躊躇い遅い時の鐘になることもあったという。隣接する大安楽寺には「江戸伝馬町処刑場跡」の碑がある。

(移動:日比谷線「小伝馬町」駅⇨銀座乗換⇨丸の内線「四谷三丁目」駅)

15:00 **集合丸の内線「四谷三丁目」駅**

15:10 **伊右衛門邸跡の四谷於岩稲荷～怪談は、四谷にかぎる。～**

田宮伊右衛門の妻・お岩を祀った神社。四谷左門町の浪人・伊右衛門が不義をしたうえにお岩を毒殺し、その亡霊に報復されるという話。実際の田宮又左衛門の娘お岩は、養子伊左衛門の貞淑な妻で信仰に厚く、お岩にあやかろうと稲荷の信仰が盛んになったと言われる。

15:25 **須賀神社～“きみの名は?”の聖地階段～**

1634(寛永11)年赤坂一ツ木村清水谷にあった稲荷神社を四谷に遷座し、後に稲荷山福田寺宝蔵院の牛頭天王を合祀した。1868(明治元)年、神仏分離により宝蔵院は廃寺となったが、近隣には天王横丁の地名が残っている。天保年間に大岡雲峰と千種有功が奉納した「三十六歌仙図」がある。映画「君の名は。」のラストシーンで瀧くんと三葉が再会する聖地、外国人旅行者の写真撮影スポットでもある。

15:35 **長谷川家の菩提寺「戒行寺」～長谷川平蔵ここに眠る?～**

1595(文禄4)年、麴町に開山されたが、江戸城の拡張のため1634(寛永11)年、現在地に移転した。墓地には旗本御家人の墓があったが、土族没落のため武家寺としては衰微し、墓地は移転しているが、長谷川平蔵の供養碑は現地に残っている。

16:00 **解散 <自由:場末の居酒屋で一献>**